

平成 27 年度 病害虫発生予察注意報第 2 号

平成 27 年 4 月 30 日
静岡県病害虫防除所長

病害虫名：ジャガイモ疫病（病原菌：Phytophthora infestans）

対象作物：バレイショ

1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：静岡県西部地域
- (2) 発生が予想される時期：4月～6月
- (3) 発生程度：多
- (4) 防除時期：5月～6月

2 注意報発表の根拠

- (1) 4月中下旬のバレイショ巡回調査では、発病株率が 21.9%（平成 0.0%）で平成より非常に高かった。
- (2) 本病は、降雨の際に孢子が飛散して感染が起こるため、曇雨天が続くと多発する。4月上中旬は、曇りや雨の日が多いため、本病が多発したものと考えられる。
- (3) 本病は、葉、葉柄、茎など地上部の全ての部位に発生する。生育中期以降になると、地上部の病斑上に形成された孢子が土中に流れ込み塊茎に感染・発病する。降雨時など湿度の高い条件下では、病斑が急速に拡大するとともに、病勢が進むと株全体が枯死する。
- (4) 今後の1か月気象予報では、降水量は「平成並～少ない」予想だが、降雨があると感染・発病が拡大する。

3 防除方法

- (1) 本病の防除は、発生初期から天候に注意し、薬剤の予防散布に努める。露地栽培では、塊茎への感染を防止するため土寄せを行う。
- (2) 収穫後の腐敗を少なくするために、収穫は晴天日を選び、よく乾燥させる。また、収穫後の罹病イモは伝染源となるため、ほ場には放置しない。
- (3) 農薬による防除は「静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準（ホームページ <http://www.s-boujo.jp/>）」を参照する。
- (4) 不明な点は、病害虫防除所、農林事務所、農協等に問い合わせる。



図1 葉の病斑



図2 茎の病斑

問い合わせ先：静岡県病害虫防除所（TEL：0538-36-1543）